

Caust. 動的理解 ～感覚と機能 抜粋

<感覚> ～のような。感じる。～の感覚。～い痛み。～感。

総体：引き裂かれるような。引っ張られるような。焼けるような。ひりひりする。すりむけたような。冷水が流れているような。

精神：自分が何か罪を犯したかのような。

頭部：額と脳の上に空間があるかのような。刺されるような。

目：ガーゼを通してしているような。

耳：灼熱感

顔：毛で覆われているように。

口：スポンジのよう。ぐらぐらするように。長くなったように。

喉：まるで喉が細すぎるかのように。すりむいたような。焼けるような。ひりひりする。

胃：石灰が焼けているような。喉にボールが上がってくるような。

泌尿器：灼熱感

男性：打撲のような。

女性：ひりひりする。引き裂かれるような。刺されるような。

呼吸器：ムズムズ感。石鹼の泡のような。えぐられるような。

心臓：灼熱感。脱力感。

首・背中：打撲のような。突き刺されるような。

四肢：充満感。破裂感。引き裂かれるような。灼熱感。ショックのような。

<機能／動詞> ウ行で終わる。否定形含む。

総体：筋肉に作用する。コントロールが次第に不確実になる。麻痺を生じる。ぐるぐる回って倒れる。脚は常に動いている。

精神：ほんの些細なことで泣く。不満なことばかり考える。めそめそする。笑う。笑う。心ここにあらず。悪い側面を見る。文字や音節を混同する。仕事上の心配でいら立つ。

頭部：頭皮が突っ張る。目が見えなくなる。

目：物が大きく見える。ぎょろぎょろする。

耳：難聴を伴う。反響する。赤くなる。

鼻：嗄声を伴う。

口：頬の内側をかむ。後退している。

喉：違った方向に嚥下する。食べたものが鼻を通過する。粘液を吐き出すことができない、それを飲み下す。

胃：生肉は吐き気を催させるが、燻製肉は受け付ける。空腹感はあるものの、食物を目にしたり、食物のことを考えると、食欲が失せる。

腹部：放射状に広がる。粘液で覆われている。油のように光る。立っていると容易に排便できる。今にも便が出そうになる。痛みを伴う。便意は頻繁にあるが、でない。

泌尿器：滴り落ちる。ゆっくり出る。

女性：凝血を伴う。顔面痛を伴う。衰弱する。

呼吸器：痛みを伴う。逆流する。ねばねばする。筋ができる。下着がきつく感じる。ゴロゴロなる。

心臓：痛みを伴う。灼熱感と脱力感を伴う。

首・背中：動かすことができない。背中痛みが前にあるいは大腿に伝わる。

四肢：麻痺を伴う。手を頭まで上げられない。すぐに転ぶ。ぽきっと鳴る。ぽきっと鳴る。踵で立つことができない。

皮膚：ぎざぎざのある。出血する。潰瘍を形成する。

睡眠：泣いたり笑ったりする。不安を伴う。ほんの些細な音で目覚める。注意を向けているときにあくびが出る。

熱：痛みを伴う。冷えが続く。